

【教學實踐與研究專題】日文系堀越和男 用影像說故事培養學生多元能力

趨勢巨流河

(文字／吳婕凌，圖／堀越和男提供，責任編輯／郭萱之)

教學現場

日文系副教授堀越和男為了提升學生的日語能力，以日文為工具，用影像記錄生活中的故事，他把這樣創新的想法帶入教學，指導學生以日語來進行紀錄片影像製作，讓學生因為做喜歡做的事而樂於主動學習。在大四「日語會話（四）」的課程中實行，得到教育部教學實踐研究計畫補助。受訪時他強調：「並非只以提升日語能力或學習技能作為學習目標，而是以一個出社會前的準備教育，將基礎性、通用能力作為日語教育學習目的的新嘗試，結合影像製作出畢業專題，來進行日語會話課程的實踐研究。」

計畫動機

堀越和男指出「未來社會所需要的人才不僅只是具備外語能力，而且另外具備創造力、良好的人際關係以及懂得隨機應變。」他認為大學應該在這些能力的培育上多下功夫，若大學裡的養成課程無法做到，將面臨被取代的命運。但就現狀來看，現在一般日文系的課程仍以日語的知識與能力的提升為焦點，促使他想要在教學中做革新。

在課程中讓學生製作紀錄片從民國93學年開始實行，學生在課程中學習專業理論後，實際應用於製作紀錄片，希望過程中的演練，除了學習日語外也培養出協調性、創造力、團隊合作、媒體應用和編輯技術等能力。

計畫主題

堀越和男做出了日語教育中的新嘗試，希望學生們透過製作影片，不僅只是日語能力的學習應用，並包括影像拍攝、編輯等技能。透過採訪、接觸各樣的人事物，再消

化後用團隊的角度來加深故事，最終變成一部部有意義的、帶著力量的成品製作為畢業專題，以紀錄片的形式做為學習成果發表。

研究目的

希望能突破傳統日語課程的教學方式，讓學習者實踐在學習中行動，並驗證教學效果，且進行有效的因素分析，最後確立此教學方法論的可行性。研究成果則透過「語言」這項工具，經由採訪、聽故事和語言轉譯後說故事，打動文化背景不同者的心，和他人產生共鳴；也盼能提供其他教師規劃課程時參考。

研究方法

堀越和男是以「PBL問題導向學習法」為基礎，透過問題或情境誘發學生思考，在過程中設定進度；運用協同教學，進而完成研究。整個研究過程包含了拍攝前準備、教導影像作品製作理論、執行拍攝、成果發表、反思回饋、問卷調查。

在大四會話課結合紀錄片製作，融合會話課程所教授的日語能力及生涯教育理念，應用在畢業專題製作上。除了專題應有的影像作品製作理論，搭配「讀書會」讓學生有開會討論的切磋空間，體會團隊精神、分工合作的重要。在展出成品後，製作團隊要寫一篇心得感想，內容包含作品的製作過程與團隊對拍攝主題的想法，並做問卷調查；以質化和量化的研究成果傳承給學弟妹。

教學成果

在10多年前的創新想法，卻遭部分同學質疑，讓堀越和男十分挫折。但隨著教學翻轉的潮流，如今日文系提供多樣化的課程，讓學生自行選擇畢業專題呈現方式，除了紀錄片外，還有雜誌編輯、語言話劇、翻譯等等，藉以確立學生初始便有基本的動機和興趣。

實施至今，過程中他不斷修正，團隊合作免不了成員間的衝突，他採取事前「打預

防針」的方式，降低溝通不良；若無法避免，作為輔導者的他直接和學生一對一排解問題，針對每個人不同的個性和能力特質給予建議。

即使有挫折，學生的成果和回饋就是支持他持續的動力，藉由拍攝影片這個媒介去學日文，跳出學習框架，邁入社會多元接觸，直接獲得情感反饋，這些都是學生需要去學習的。有個學生在發表榮民之家的作品時，哭得不能自己，原先大家不了解為何會有這樣的情緒反應，待紀錄片播放完畢，所有同學不需透過言語也能了解箇中原因。

製作和觀賞影片成為當今趨勢，每個人都可以是創作者和閱聽人，堀越和男鼓勵學生自願去做自己關心的主題，並以日語口白、中文字幕的方式呈現，讓兩方語言如河水般自在流動；在製作過程中，學生能看見自己心智的成長、能力的進步，並了解到團隊的力量，這樣的成就感帶動學習動機，更是他至今不變的初衷。這些年裡他看到：學生在團隊中盡力做好自己的角色、遇事努力去協調溝通、最終創造出感動人心的作品，整個過程，都是培養進入職場後所需具備的能力，而透過這種方式去學習語言更不容易遺忘。堀越和男盼望學生擁有積極力面對人生的課題；用溝通力去協調；協助他人加強貢獻度；凝聚向心力並增溫同儕情感；懷著感謝的心，因為所有人共同努力才造就今天的自己。

持續精進

堀越和男希望看到學生的潛力發揮到極大值，也認為需要跟著時代的腳步，用新的教學方式去帶領學生、因材施教，計畫的發想也是為了學生需要更多元、多面向的學習，創新求變；他勾勒這樣的大學教育，方能讓他們具備面對未來職場所需的各種能力，不忘探索生命的意義。

107學年度畢業生分享

張雅筑回想畢製的過程：「最困難的地方是決定主題，從發想到實際拍出來的成品不一樣，最初是想拍手遊相關議題，但後來在呈現上出現難題，經過討論，組長提出說故事的方式。我們的難題還有選角、拍攝時間的配合等；拍攝持續了一週的時間，後製的問題也要克服，像是字幕翻譯修改了非常多次；影片剪輯和配音也蠻複雜

，靠著大家分工合作順利完成，看到影片放映出來的瞬間真的很感動，覺得一切都值得了！」

黃彰櫻則分享「因為對攝影的憧憬以及想學習影片剪輯，因此選擇了堀越老師指導的畢業專題。這門課不輕鬆，拍片耗時是最大挑戰，為了提高效率，我們盡力做好時間管理和分工，過程中曾發生劇本寫好，卻在開拍前被採訪對象拒絕，只好全部重來的悲慘事件。大家一起討論、解決問題。我非常喜歡這堂課，因為老師在開始拍攝前，讓我們了解各種拍攝剪輯手法，以及運用該手法後的效果呈現。因此我們可以根據想要表達的內容選擇攝影和剪輯的方式。很感謝老師每個禮拜都會檢查各組進度，讓我們一點一滴去累積拍攝、剪輯、翻譯和錄音等元素以完成作品。其中翻譯部分是我認為最辛苦的，因為本組作品是同屆裡旁白最多的，還包含專有名詞，我們千辛萬苦才完成了翻譯部分。在過程中我曾因與組員的溝通不良而導致不愉快，經由老師提點，意識到大家都是求好心切，對作品抱持著熱情才會導致摩擦，反而體認到團隊中溝通的重要性。」

profiles

外國語文學院日本語文學系

堀越和男副教授

大正大學文學研究博士

107學年通過教育部教學實踐研究計畫名稱：日文系大四會話課程中學習製作紀錄片

經歷：

東京國際大學付屬日本語學校兼任日本語教師

日本交流協會高雄事務所文化室《日本語普及專門家》

淡江大學日本語文學系助理教授

淡江大學日本語文學系副教授

2019/12/09

他專業研究計畫期末成果報告
日文系大四會話課程中學習製作紀錄
計畫主持人：堀越和男 副教授
指導教授：淡江大學 日本語文學系

計畫要旨

本計畫は、ドキュメンタリー制作を知らず知らずのうちに修得する機会を得た。たぶん身勝手、日本語能力が種々な学生が参加する事になった。そして、それを卒業制作と意識せずにならぬ、皆食ひ出さぬ位の準備を以て基礎的・汎用的能力の修得を目的としたこの日本語教育の検証として行い、本研究ではその実態と結果について報告する。
中核：映像制作・構成主義・協働学習

研究動機と目的

従前の年度から映像制作制作を通して日本語を学ぶといった授業を知った。これは作る側の学生で学びを深めようとしたというよりも、映像制作制作では日本語は知らなくても、論理的思考力、撮影技術や映像編集能力、動機力、問題解決能力、交渉力、チームワーク等が必要になる。本学では、学生がこの授業で何を学んだか検証しているの。また活動の中で活動中に何を学んだか検証しているの。検証の目的、質の目標を達成するために教師は何をするべきか、その検証についても報告する。

卒業制作

淡江大学日本語学系は、4年生のカリキュラムに卒業制作及び指導(修論)が必修。これは実践型・研究型・研究制作制作(ディベート・演劇・演習)が行われる。映像制作制作(卒業制作)の中から一つを選び、指導教授の指導のもとで1学期で完成させるという形式。

シナリオデザイン

本研究では、PBLの六つのフェーズ(構構・導入・選定・発表・質疑・評価)に従い、授業設計を行った。

計画成果資源

参考：107年度卒業制作
[時間を取り戻すお婆さん]
[數字科醫師]

聯絡方式：
聯絡教授 副教授
淡江大學日本語文學系
Email: 122490@mail.tku.edu.tw

「日本語(四)」の概要

1. 授業の目的(定規様式)
2. 本授業の概要
3. 実証実験と評価
4. 学生の本音
5. 映像制作制作
6. 授業の振り返り

2. 二期試験後の

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

3. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

4. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

5. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

6. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

7. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

8. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

9. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

10. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

11. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

12. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

13. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

14. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

15. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

16. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

17. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

18. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

19. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

20. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

21. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

22. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

23. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

24. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

25. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

26. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

27. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

28. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

29. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

30. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

31. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

32. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

33. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

34. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

35. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

36. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

37. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

38. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

39. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

40. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

41. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

42. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

43. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

44. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

45. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

46. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

47. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

48. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

49. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

50. 学生の修得した事

1. 学生の修得した事
2. 学生の修得した事
3. 学生の修得した事
4. 学生の修得した事

學生畢業製作
成果之一
<https://bit.ly/33EugVT>

【教學實踐與研究專題】日本文學系 堀越和男